

〈カモミール〉



畑のカモミールが一斉に咲き出した。3月頃だろうか、こぼれダネでたくさんの苗が芽を出しているのに気づいたが、あれよあれよという間に大きくなり白い花でいっぱいになった。何年か前にタネを蒔いて育てていたものだが、それ以来毎年畑のあちこちに芽を出して花を咲かせている。写真を撮ろうと花のそばに寄ったら、あの甘い香りがぷーんと匂ってきた。カモミールにはジャーマンとフレンチの種類があるということだが、花の咲き方からジャーマンカモミールのようだ。1年草というのも当たっている。キク科の花なので中心部にたくさんの小さなタネができ、それが畑中にばらまかれる。この花を野菜の近くに植えておくと虫よけにもなるらしいので数年前から試してみているが、効果のほどは「う～ん???’ってとこか。



見るだけでは勿体ないので、早速ハーブティーとして飲む。花を7~8こ摘んでカップにいれ、熱湯を注ぐだけ。白いカップに白い花なので見栄えは今一。近くにカラスノエンドウが咲いていたので、ピンクの花を2つほど浮かべてみたらずっとおしゃれになった。カモミールはリラックス作用があるので、飲んでみるとスーッと気持ちが落ち着き、口から消化器官全体が浄化される気がする。畑ではいつもはコーヒーを飲んでいるのだが、たまにはカモミールティーもいい。これから、ミントやラベンダー、バジルも咲き出す。ハーブティー専門の無料喫茶でもオープンしようかな。